

令和4年第16回公安委員会会議録

日 時	7月14日（木曜日） 自午後 1時30分 至午後 5時20分	場 所	公安委員会室
会 議	公安委員	小野委員長 廣塚委員 高木委員 宮尾委員 甲斐委員	
出席者	警察職員	本部長 警務部長 生活安全部長 刑事部長	
		交通部長 警備部長 情報通信部長	

第1 聴聞等についての決裁

運転免許課長から、聴聞14件、意見の聴取21件について説明があり、決裁が行われた。

第2 定例会議

1 令和4年6月熊本県議会定例会の結果について

(1) 会期

令和4年6月3日（金）から6月21日（火）までの19日間

ア 一般質問

6月8日（水）から6月13日（月）までの間

イ 教育警察常任委員会

6月15日（水）

(2) 警察関係付託議案等（教育警察常任委員会）

ア 付託議案

(ア) 令和4年度熊本県一般会計補正予算

(イ) 令和3年度熊本県一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について

(ウ) 専決処分等の報告について

イ 追号議案

令和4年度熊本県一般会計補正予算

ウ その他報告事項（総務常任委員会審議事項）

熊本県手数料条例の一部を改正する条例の制定について

(3) 警察関係質問

ア 一般質問

(ア) 消費者トラブル（サイバー犯罪）の対策について 【前田議員（公明党）】

(イ) 大麻の乱用実態と乱用防止に向けた取組について 【内野議員（自民党）】

イ 教育警察常任委員会

(ア) 警察車両の納期遅延の状況について 【城下議員（公明党）】

(イ) 中学卒業後から高校入学前までの生徒の身分について 【城下議員（公明党）】

【委員からの質問等】

○ 委員から、「補正予算の報告の中でDXの話があったが、熊本県警察が色々な技術改革をしようとしている取組の一部を、補正予算で要求したということか。」旨の質問があり、警察側から、「県警察においては、DXについて色々と検討していたところ、今回、新型コロナウイルス感染症対応の地方創生臨時交付金が交付されたことから、業務での人と人の接触機会を減らし、感染症対策に資するものについて、要求をしている。」旨の説明があった。

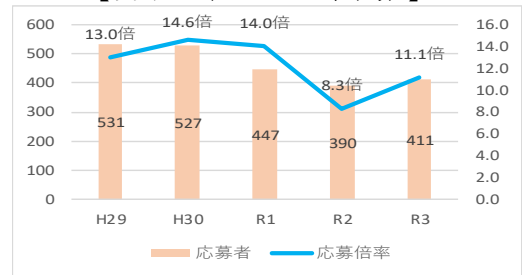
○ 委員から、「熊本県警察ではキャッシュレス化の検討は始めているのか。」旨の質問があり、警察側から、「キャッシュレス化は一県警察だけでなく、全国的な検討課題になっており、これを取り入れることのメリット・デメリットを見据えた上で検討していきたい。」旨の説明があった。

2 警察官B及び警察事務採用試験の実施について

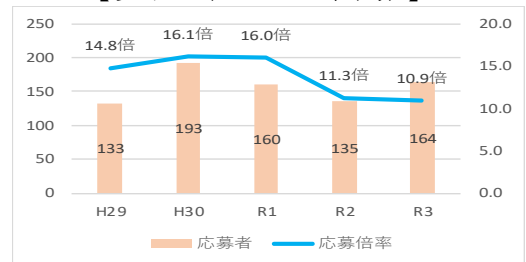
(1) 警察官B

- ア 申込受付期間
令和4年7月29日（金）から
令和4年8月19日（金）までの間
- イ 第1次試験日
令和4年10月16日（日）
- ウ 採用予定人員
 - 男性48人程度
（前年比+11人）
 - 女性16人程度
（前年比+1人）

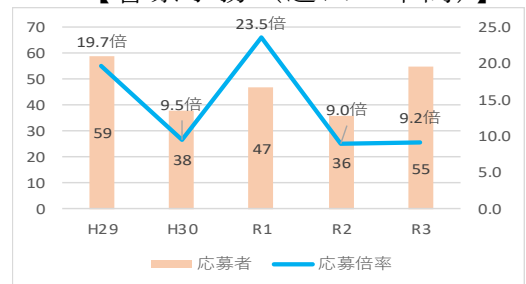
【男性（過去5年間）】



【女性（過去5年間）】



【警察事務（過去5年間）】



(2) 警察事務

- ア 申込受付期間
令和4年7月29日（金）から
令和4年8月15日（月）までの間
- イ 第1次試験日
令和4年9月25日（日）
- ウ 採用予定人員
5人程度（前年比-1人）

(3) 採用募集活動の概要

- ア SNS等による情報発信
県警察採用係のInstagram、LINE等により
採用情報等を発信
- イ 業務説明会等の実施

【委員からの質問等】

- 委員から、「熊本県警察の警察官一人当たりの負担人口は全国的にも高い方だと思っている。そもそも警察官の定数は、警察庁が管理しているのか。また、警察官の増減について全国的な動向はどうなっているのか。」旨の質問があり、警察側から、「警察官の定数は、警察庁が所管する政令で定める基準に従い、各都道府県の条例で定められている。当県警察では、負担人口の軽減に向け、引き続き関係省庁に増員を働き掛けるとともに、現在の体制の中で警察力強めるため、DX等を活用するなどして業務を効率化することによって、警察官の負担を軽減し、その分を重要な治安対策に振り分けていくことが必要だと考えている。」旨の説明があった。
- 委員から、「警察の採用では、専門人材の採用という考え方はあるのか。」旨の質問があり、警察側から、「本日報告している競争試験のほかに、選考試験として、武道指導、サイバー、情報管理専門、鑑識技師、航空整備士等の試験を実施している。」旨の説明があった。
- 委員から、「18歳人口は年々減少しており、また、TSMCの進出など、警察の採用を取り巻く環境は大変な方向に進むだろうと感じている。本日、SNS等による情報発信の話があったが、加えて、学校には進路指導の担当者が必ずいるので、そこと密に連絡を取り、一人でも多くの学生に受験してもらおうという姿勢を継続することも大事だと思う。」旨の意見があった。

3 企業に対するアウトリーチ活動の結果について

(1) アウトリーチ活動とは

企業や大学などが行う、技術情報流出防止対策に資するよう、これまで全国警察が解明してきた技術情報流出に関する手口や、それに対する有効な対策のノウ

- ハウを情報提供すること。
- (2) アウトリーチ活動結果
県内某企業に対して
- 経済安全保障の推進
 - 最近の技術情報流出事例・手口の紹介
 - 技術情報流出防止に向けた警察の取組
- について情報提供を実施したことなどが報告された。

【委員からの質問等】

- 委員から、「こういう活動を警察が実施することは大変良いことだし、これからも広げていくべきだ。日本の企業のリスク管理は、情報漏洩に関してはレベルが低いと思うので、日本の企業も守秘義務とか情報漏洩に関する関心度をもっと持つべきだと思う。」旨の意見があり、警察側から、「そういった部分の内部管理意識を持っていただくためには、危機感の醸成が必要であり、まずは経営層に訴え掛け、その上で、従業員に対しても具体的なケースを示しながら伝えていくこととしている。」旨の説明があった。

第3 報告・決裁等

- 1 **犯罪被害者給付金支給裁定についての決裁**
犯罪被害者支援室長から説明があり、決裁が行われた。
- 2 **賞揚等禁止命令の送達についての報告**
組織犯罪対策課長から報告が行われた。
- 3 **処分基準の一部改正についての決裁**
生活環境課長から説明があり、決裁が行われた。
- 4 **監察業務の報告**
首席監察官から報告が行われた。
- 5 **令和4年第14回及び第15回公安委員会会議録の決裁**
公安委員会事務室から説明があり、決裁が行われた。
- 6 **審査請求（R4 No.2）審理経過調書作成の決裁**
公安委員会事務室から説明があり、決裁が行われた。
- 7 **審査請求（R4 No.2）審理手続の終結等の決裁**
公安委員会事務室から説明があり、決裁が行われた。
- 8 **審査請求（R4 No.2）裁決書の決裁**
公安委員会事務室から説明があり、決裁が行われた。
- 9 **苦情（R4 No.12）受理の報告**
公安委員会事務室から報告が行われた。
- 10 **意見・要望等（R4 No.19）受理の報告**
公安委員会事務室から報告が行われた。
- 11 **審査請求（R4 No.3）弁明書の報告**
公安委員会事務室から報告が行われた。
- 12 **熊本県情報公開・個人情報保護審議会からの資料提出依頼について**
公安委員会事務室から報告が行われた。